

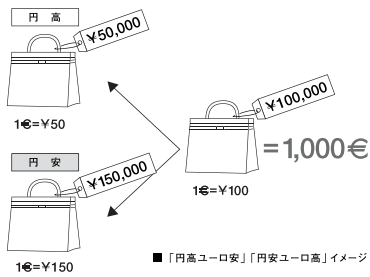
# 「外貨」なんて日本に住んでいる自分には関係ない、と思っっているあなたへ。

本日は、ちょっと世界を股にかける気分で、「外貨と資産運用」についてお話ししたいと思います。あなたは「外貨」と聞いて、何を思っているのか？「外貨なんて、海外旅行に行ったときくらいしかお目にかからないね」。そんな風に感じている人、多いのではないのでしょうか。しかし日本に住んでいても「外貨」に触れることはできるし、むしろ資産運用上、もっと積極的に「外貨」と付き合うことを考えてみてはいかがでしょうか。

ところで経済ニュースや新聞でよく耳にした目にしたこと「円安ドル高」「円高ドル安」という言葉。皆さんも聞いたことがあるのではないのでしょうか。世界の各国にはそれぞれ流通している通貨があります。例えば、米ドルやユーロ、英ポンドなど、それぞれ異なる通貨を交換すること、つまりお金とお金を交換することを、外国為替と呼んでいます。また外国為替取引とは外貨を円で売買することです。そして、ある通貨に対して円の価値が相対的に上がることを円高、下がることを円安と言うわけです。

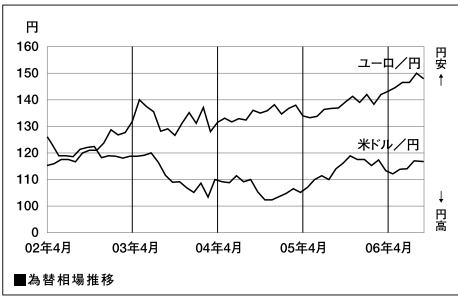
例えば米ドルを購入する場合、以前は仮に1ドル＝100円だったものが、1ドル＝110円になることを、円安になる、と言います。これはインフレと同じで、今までは100円で買っていた1ドルが、110円払わなければ買えなくなってしまう、ということなのです。

昨今では、「円安ユーロ高」の傾向が顕著です。つい数年前までは、1ユーロ＝100円でしたが、今年の9月には、1ユーロ＝150円となり、対ユーロで円は最安値をつけました。つまり以前は、1000ユーロ＝10万円で買えた外国製品が、単純に計算すると同じ1000ユーロでも、今では15万円出さないと買えないわけです。最近ヨーロッパに行かれた方は、おそらくブランド品を購入したときなど、「えっ、そんなに高いの？」と思われるかもしれませんね。



モノの値段が上がるインフレと同様にこうした円安も、円の資産価値を下落させる要因のひとつと言えます。円安とは、外貨に対して円の価値が下がることですから、円安のリスクについても考えなければいけないのです。

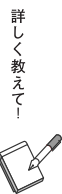
話は変わりますが、日本の食糧自給率がどれくらいかご存じですか。約40%です。食料の半分以上が輸入品なのです。また、原油の自給率に至っては、1%未満です。つまり、これだけ日本が輸入に頼っているということは、円安になれば物価が上がり、生活のさまざまなところにその影響が及ぶということです。例えば、米国から何かを輸入しようと思った場合、同じ100ドルでも、円に換算すると、以前より高くなってしまいます。



では、円安による物価高に對抗するにはどうしたらよいでしょうか。スバリ、外貨の資産を持つべきなのです。そのための商品として、例えば、外貨預金や外貨MMF（マネーマーケットファンド）、外貨建て債券などがあります。

外貨投資で大切なことは、複数の通貨を持つことでリスク分散できるということです。通貨が異なれば、金利と為替の動きが異なるので、もし仮に、対米ドルで円高になって損をしたとしても、他の通貨に対して円安となれば、その損を相殺したり、損を上回る利益を得られる可能性があるのです。

最近では、円と英ポンド、円とユーロなどの関係で見ると、この6ヶ月で約10%程度の動きがありました。物価の動きは自分ではコントロールできませんが、外貨投資であれば、米ドル、ユーロ、英ポンド、豪ドル、ニュージーランドドルなど、自分の判断で複数の通貨を売買することにより、リスク管理することができるのです。



詳しく教えて！  
「外貨投資の魅力」

外貨投資の魅力は国内金利に比べて現在は相対的に高金利なことです。円の金利は定期預金などでもせいぜい1%程度ですが、海外なら先進国の金利は米ドル、ユーロ、豪ドルなど国内より高く、4%以上も珍しくありません。また円安になれば為替の差益も得られます。ただし円高になれば為替損が発生しますし、為替の手数料が大きくかかる商品もありますからもちろんリスクもあります。外貨投資の代表的商品としては外貨預金がありますが、それ以外にも外貨建て債券、外貨MMF、外貨建て投資信託なども人気があります。それぞれの商品の特徴、メリット、デメリットなどは今後このゼミナールで紹介していく予定ですのでお楽しみに。

内閣府が今年4月5日～14日に、民間エコノミスト32人を対象に、今年の金利動向、物価・成長率などに関するアンケートを行ったところ、今後の日本経済のリスク要因として、米国の景気後退、中国経済の減速に次いで、円レートの急激な変動が、3番目にランキングされていました。

このように、外貨投資しないことのもリスクも存在します。経済はまさにボラダレスです。日本に住んでいても、世界の経済動向と無関係に生きていけるわけはありません。国内だけでなく、海外にも目を向け、先ほどご紹介したような商品を活用した資産運用を考えてみてはいかがでしょうか。



**本日の、ここが重要！**  
円安になると円の資産が  
実質的に目減りすることもある。  
外貨投資しないことのもリスクも考えよう。



学校では教えてくれないお金の勉強/その4

「マネックス お金のゼミナール」は、知っているようで知らないお金の話について、毎週1回、詳しくかつ分かりやすく解説する紙面講座です。次回は10月29日(予定)の新聞紙上でお会いしましょう。